

# 「指導例」を有効に活用した単元構成のアイデア

学年・単元名

第6学年 「やまなし」資料：イーハトーヴの夢（光村図書）

単元構想

指導例「賢治の生き方」を取り入れて

第一次

本時  
(第1時)

指導例「賢治の生き方」

- 1 資料「宮沢賢治の伝記」を読み、賢治の生き方について自分と重ね合わせて考え、理由や根拠を明確にして表現することができる。
- 2 賢治の生涯を年表にまとめることができる

第二次

1 「やまなし」の題名と冒頭の一文から想像したことを発表し、全文を音読することができる。

2 2枚の幻灯写真（「五月」と「十二月」）に描かれている内容を読み取り、作品の構成が考えられる。

第三次

1 「五月」の場面を、「かへの親子」の様子や登場する物や音などに着目して読み、谷川の情景を想像することができる。

2 「十二月」の場面を、「やまなし」の出現で変化していく「かへの親子」の様子や気持ちに着目して読み、谷川の情景を想像することができる。

3 谷川の情景を想像しながら「五月」と「十二月」の場面を比べ、共通点や相違点について感じたことを話し合うことができる。

第四次

1 「資料：イーハトーヴの夢」を読み、賢治の生きていた時代の状況、賢治の思想や行動、賢治の考え方などを読み取り、年表にまとめることができる。

2 年表をもとに、心に残ったことを交流し、作者の生き方や考え方を探ることができる。

3 「やまなし」に描かれている賢治の考え方について話し合うことができる。  
賢治の他の作品を読んで感じたことを話し合うことができる。

## 押さえてたい指導のポイント

- 資料「宮沢賢治の伝記」を正確に読ませ、必要な情報を抜き出させる。
- 自分の考えを発表するときには、文章中の言葉を根拠に述べるようにながす。
- 決められた条件に合わせて、根拠を明確にして書きまとめる機会を設ける。

